

公共施設の活用に関する地域意見交換会 意見交換テーマ

テーマ1 「市の考えや取組みについてどう思いますか？」

テーマ2 「どうしたら学校の空き教室をもっと活用できると思いますか？」

テーマ3 「どうしたら市民館等の校区にある公共施設の利用を増やせると思いますか？」

1月開催分 意見内容

校区名	年齢	性別	意見交換テーマ				意見 用紙	意見内容
			1	2	3	その他		
新川	70代	男性				○		就職するところがないから若者が外に出ていくというのはつまらない。なるべく豊橋に住んでもらって、よその人にも来てもらいたい、そういった施策を市としてやらないといけないと思う。
新川	70代	男性				○		わが身に降りかかるかどうかで考え方は変わってくる。
新川	60代	男性	○					校区によっては校区市民館、地区市民館、老人福祉センターなどがあって、人口密度の割には数が多いところがある。人口が多いところとある程度差をつけないといけないと思う。統廃合の際はその辺を加味してほしい。
新川	70代	男性		○				これからはいかに高齢者を外出させて、健康な高齢者を増やすかが重要。そうならば健康保険料も増えない。改修するときには高齢者が気楽に遊べるスペースをすることや施策が重要。
新川	70代	男性			○			利用率の低い地区市民館は本当に必要か。運営の人や、電気代も必要。一つにしてもいいし、無くなっても文句が出ないのでは？
新川	70代	男性			○			校区市民館利用者から車が止められないことについてよく言われる。学校の敷地内は先生の駐車場なのか？という意見もある。何故学校の職員が学校の敷地に自家用車を止められるのか？と言われたこともある。先生が公共交通機関で来てくれれば、校区市民館の駐車場がもっと確保できる。
新川	70代	男性			○			校区市民館の予約はホワイトボードにマグネットを張って管理しているが、大体埋まっている。午前・午後・夜間の区分の中で、例えば午後1時から3時と3時から5時といった形で1区分の中で2つに分かれることもある。市の統計とは違うかもしれない。
新川	60代	男性		○			○	学校の空き教室を利用できるのは、今回初めて知った。
新川	60代	男性			○		○	組回覧等でお知らせする。

公共施設の活用に関する地域意見交換会 意見交換テーマ
 テーマ1 「市の考えや取組みについてどう思いますか？」
 テーマ2 「どうしたら学校の空き教室をもっと活用できると思いますか？」
 テーマ3 「どうしたら市民館等の校区にある公共施設の利用を増やせると思いますか？」

1月開催分 質問等(一部意見を含む)と回答

校区名	年齢	性別	意見交換テーマ				意見 用紙	質問等 内容	担当課 回答等	担当課
			1	2	3	その他				
新川	70代	男性				○	人口推計について、出生率だけを考慮したものか？企業誘致なども考慮したものか？	合計特殊出生率のほか、好況基調により流入傾向が強かった2000年～2005年と景気後退により流出傾向が強かった2005年～2010年の移動率も加味した推計になっています。	未来創生戦略室	
新川	70代	男性				○	出生率だけでなく、企業誘致して産業基盤をもっと上げて、若い人を呼びなるといったことを加味した方が良い。いかによその人口を取り込んでくるかということも含めて。例えば、産業誘致して平成72年までに何万人ぐらい人口を高めるといったものはないのか？	豊橋市人口ビジョンは出生率や人口移動を加味した2060年（平成72年）までの推計であり、一方、豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、5年間の目標や推進していく施策を示したものであるため、2060年の推計人口と総合戦略の施策は紐づくものではありません。	未来創生戦略室	
新川	70代	男性				○	人口減少対策とは具体的に何か？	若者の移住・定住を促進するため、企業や大学と連携した就職支援や若者の主体的な活動への支援を行っています。また、子育てしやすいまちづくりのため、結婚・妊娠・出産への支援や幼稚園・保育園の保育料の補助、仕事と子育てが両立できる環境づくりを進めています。また、人口減少社会に適應できるようコンパクトなまちづくりの推進等を行っています。	未来創生戦略室	
新川	70代	男性				○	・人口減少対策とは出生率を上げるということか？ ・（移住について）高齢者も歓迎するのか？	出生率の上昇のほか、地域産業の活性化や移住定住の促進、人口減少社会に適應できるコンパクトなまちづくり等を行っています。また、豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略では高齢者向け移住施策は掲げていませんが、高齢者の移住を拒むものではありません。	未来創生戦略室	
新川	70代	男性				○	元々住んでいる人はいいが、（移住などで）高齢者が増えると税収よりも社会福祉関係にお金がかかる。若い人に来てもらうためにはやはり仕事が必要。	単体ではなくセットで考えるべきことだと思っています。	資産経営課	
新川	70代	男性				○	京都府宇治市の学校の活用事例について、デイサービスセンターは第3セクター、民間のいずれがやっているのか？	老人デイサービスセンターは社会福祉法人（民間）が施設の維持管理・運営を行っています。	資産経営課	
新川	70代	男性				○	新川小学校、新川校区市民館の寿命はあと何年か？	新川小学校と新川校区市民館は平成11、12年に全て建替えました。長寿命化は目標として80年間使えるようにする取組みです。新川小学校も最近外壁工事を実施し、80年間使えるように手を入れました。	資産経営課	

校区名	年齢	性別	意見交換テーマ				意見 用紙	質問等 内容	担当課 回答等	担当課
			1	2	3	その他				
新川	70代	男性				○	例えば、新川小学校と松山小学校の生徒が将来的にかなり減った場合、松山小学校の方が古いので、更新施設の削減として、松山小学校を壊して有料駐車場にするなど、地域で小学校を取り合うということになってしまう。古くならしたら更新施設は削減しましょうということか？	今ある施設をベースとして考えており、まずは、身近なところで、校区市民館を学校に入れる、学校の改修に合わせて複合化を実施することで更新施設を減らすことができます。学校の統合については、対象となる学校、時期、方法など具体的には決まっていますが、一つの目安として、複式学級が見込まれる場合、保護者や地域の皆さまにご意見を伺いながら統合に向けて検討していきます。	教育政策課	
新川	70代	男性				○	(新川校区市民館は小学校体育館と一体となっているため) 新川校区は更新施設の削減という点では関係ないということか？	それだけで考えると該当しない可能性はありますが、複合化では必要となる新しい機能があるかもしれません。また、校区によっては新しいところや古いところがあるので、この考え方自体についてどう思われるかお聞きしたいと思います。	資産経営課	
新川	60代	男性				○	校区市民館と地区市民館のすみ分けは今後どうする？	校区市民館はコミュニティ活性化のための拠点施設、地区市民館は地域の生涯学習の拠点施設として役割をすみ分けていますが、今後も市全体の施設に関する方針を踏まえながら市民館全体としてあり方を考えていかなければならないと考えています。	市民協働推進課 生涯学習課	
新川	60代	男性		○			学校に別の施設を入れるとなっても、貴重品などがあり治安上の問題があり難しい。	セキュリティの問題は考えなければいけないと認識しています。	資産経営課	
新川	60代	男性			○		校区市民館を利用する上での有料と無料の区別は？	校区住民が地域コミュニティ活動で使用する場合などは無料となりますが、それ以外は有料となります。	市民協働推進課	
新川	70代	男性				○	中部地区市民館は知名度が低くイメージがない。駐車場がないと思うが、実際には何台分あるのか？中学校エリアとなるとお年寄り歩いて行くのは難しい。そもそも本当に中部地区市民館は必要なのかということもある。	中部地区市民館は中消防署と一体となっており他地区市民館のような建屋のイメージが無い施設です。駐車場は3台分用意されており利用状況によって中消防署の駐車場もご利用いただけます。また、今後も市全体の施設に関する方針を踏まえながら市民館全体としてあり方を考えていかなければならないと考えています。	生涯学習課	
新川	60代	男性				○	現状で、(学校の)責任の所在はどこにあるのか？小学校を使っている際に出た意見や改善点など、どこに言えばいいのかわからない。小学校を通じて言うのか、市に直接言うのか不明瞭。	小学校を使っている際に出たご意見等については、学校へお伝えください。	教育政策課	
新川	70代	男性				○	市民館の稼働率は大体何パーセント以上なら及第点となるのか？	稼働率の目標はありませんが、校区市民館は第2次市民協働推進計画で別の目標指標(校区市民館の地域コミュニティによる利用率H26年16%をH32年18%)を定めています。	市民協働推進課 生涯学習課	
新川	60代	男性				○	校区市民館を利用する年齢層は把握しているのか？	年齢別の集計は利用者アンケートで限定的に行っているのが現状です。	市民協働推進課	

校区名	年齢	性別	意見交換テーマ				意見 用紙	質問等内容	担当課回答等	担当課
			1	2	3	その他				
新川	50代	男性				○	平成28年度から子ども会の町に対する市からの補助金がカットされた。活動費が逼迫している。何故なくなったのか、しっかりとした回答がなかった。ちゃんとした答えがほしい。	地域子ども会に対する謝礼は、各子ども会の活動状況把握が困難かつ活動者数に関係なく一律金額だったため、不公平な面もあり平成26年度をもって廃止し、平成27年度から全国子ども会安全共済会への加入に係る補助制度に変更していますが、平成28年度からカットした補助金はありません。	生涯学習課	